

パッシブ環境調整工学 大学院授業概要（シラバス）

2004.4.14

辻原 万規彦

【授業科目】パッシブ環境調整工学（辻原 万規彦）

【授業の概要】

温熱環境をはじめとするよりよい居住環境の創造を目指し、半戸外空間の活用などをはじめとする、各地の気候風土に即して自然エネルギーを有効に利用するパッシブな環境調整手法について、建築内部だけでなく都市施設をも対象として講義する。また同時に、先人の知恵を現代に活かし、かつ過去の歴史を反省することによって、今後の環境調整のあり方を見据えるために、これまでの環境調整手法の成立や発展過程などの歴史について講義する。

【キーワード】

気候風土，自然エネルギー，民家，技術史，空気調和・衛生工学

【テキスト・参考書】

彰国社編『自然エネルギー利用のためのパッシブ建築設計手法事典 新訂版』（彰国社，2,940円）

木村健一編『民家の自然エネルギー技術』（彰国社，4,600円） など

【評価方法】

出席状況，適宜出題するレポートなどを総合して，評価します。